

## — ラジオ関西「医療知ろう！」に出演 —

### 船越正信先生が尼崎アスベスト問題を語る

ラジオ関西番組「寺谷一紀のケンコー法師」内の協会提供コーナー「医療知ろう！」に、11月19日に尼崎支部から船越正信先生（潮江診療所所長・尼崎アスベストの会会長）が「尼崎アスベスト問題とは」をテーマに出演した。

船越先生は、アスベストによる健康被害として、自力で呼吸ができなくなり死に至る“悪性中皮腫”などがあるが、発症まで10年から50年くらいかかる場合があり、“静かなる時限爆弾”とも言われていると説明した。その上で、尼崎ではクボタ旧神崎工場の周辺を中心に、既に全国平均の11倍以上の死亡者が出ている実態を紹介。国による救済制度はあるものの、対象が限定されていたり、補償金も少額と指摘し、被害者の完全救済のためには、規制を怠ってきた国と、アスベストを使用してきた企業の責任を認めさせることが重要と語った。最後に、健康被害を心配される方は、遠慮なく「尼崎アスベストの会」へご相談をと呼びかけた。



電話出演した船越正信先生

＜アスベストの被害からいのちと健康を守る尼崎の会＞

連絡先：06-6489-2600（TEL・FAX 共通）まで

当日の様子は、放送後でも番組ブログや協会ホームページ（<http://www.hhk.jp/topics/2022/1001-090000.php>）からもご覧いただけます。

兵庫県保険医協会の医師・歯科医師が、ラジオ番組「寺谷一紀のケンコー法師」「医療知ろう！」コーナーで「感染症予防に大事なことは？」「健康とお口の関係は？」など身近な医療や健康に関する疑問にお答えします。毎週土曜日夜8時02分ごろからは、ラジオ関西（AM 558KHz）をぜひお聞きください。

**寺谷一紀のケンコー法師 医療知ろう！**

毎週土曜日 PM8:00～9:00  
 コーナー PM8:02～8:12頃  
 放送期間 2022年10月～2023年3月

ラジオ関西 AM558 FM91.1 AM 558KHz / 1395KHz (東北部) / FM91.1MHz

## 兵庫県保険医協会

# 尼崎支部ニュース

428号

2022年12月15日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部  
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

### 第100回評議員会 尼崎支部 山内道士先生からの発言

## オンライン資格確認義務化と 保険証廃止に断固反対

協会が11月20日に開催した第100回評議員会で、尼崎支部からは山内道士評議員の発言を、綿谷茂樹支部長が代読した。発言の要旨を掲載する。

#### 【発言】

##### ①義務化への反対

精神科医です。義務を感じすぎて鬱になる患者さんを日々みている立場からも反対します。何のために義務化にするのか、それが説明されていない。義務化が良いという場合は極めて限られていると思う。まず言いたいことは目的を具体的にみることができれば鬱は改善します。しかし、目的が曖昧なまま「いうことをききなさい」は鬱になります。鬱にさせる「義務化」に反対です。



山内道士評議員

##### ②利便性重視への反対

精神科医としての経験から言います。利便性重視は手段を優先することになります、即ち目的が優先されないの、意欲が出ない、やはりうつ状態を作ります。

##### ③オンライン資格確認を導入する目的を明確にしないことへの反対、保険証廃止する目的が不明確なことへの反対

なるほど国民のため、患者のためになるなら、頑張ろうと思えるのです。聞くところによると保険証による外国人の悪用があり、保険証廃止反対は、左翼だとか。保険証廃止する理由として、そのような目的があるなら明確にいう必要があります。とにかく目的が曖昧なまま、結論ありきで強制することに反対です。

(1面からのつづき)

#### ④開業医への過大な負担

私の診療所の電子カルテは年に数回トラブルが発生します。大手の業者の電子カルテを使っているにもかかわらずです。本来医師は医療に専念するのが良かったのではないのでしょうか。電子カルテができた当時は医師が患者の顔をみないとクレームがあったはず。今、国は電子カルテも義務化しようとしていると聞きます。医師のロボット化を進めているのではないのでしょうか？

#### ⑤保険医取り消しという脅迫

脅迫行為が行われていることをメディアは言いません。一開業医は従うか、閉院するかを迫られる不条理なことが進行しているのです。精神科医として、開業医として、義務化に断固反対です。

### 第31回日常診療経験交流会

#### バックオフィス業務におけるクラウドサービスの活用について解説

第31回日常診療経験交流会が10月30日、「コロナ禍の医療～我々はどこへ向かうのか～」をメインテーマに、協会会議室で開催され、会員、スタッフなど44人が来場し、30人がZoomを用いたオンライン視聴で参加した。

分科会では尼崎支部から、野村医院の横山哲郎氏が「医療機関のバックオフィス業務におけるクラウドサービスの活用について」と題して発表した。



参加者から導入メリットについて質問が寄せられた

### 第582回幹事会だより

11月17日(木) 於: わたや整形外科

#### ○ 尼崎支部の会員数

11/1 現在 医科 379人、歯科 168人

#### ○ 医療をめぐる情勢と運動対策

介護保険の利用負担2割化やケアプラン作成料の有料化などについて、尼崎市と尼崎医師会が新型コロナ取り扱いを5類相当へ見直すよう厚労大臣に要望したことについて意見交流した。今後の支部企画として医科歯科連携研究会、医療と福祉を考える会などを検討した。

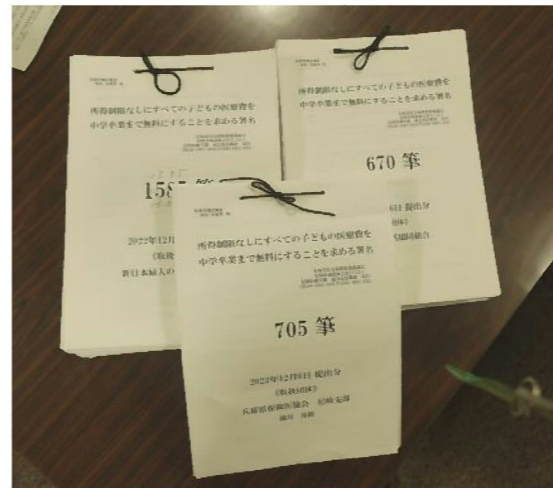
○ 次回日程 12月22日(木) 14:00～ わたや整形外科(阪急塚口駅から徒歩10分)  
お問い合わせはTEL 078-393-1805 沖野・石本まで



## － 尼崎社会保障推進協議会 市議会へ陳情書を提出 －

### 子どもの医療費を無料にして!! 6,204人の願いを届ける

所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学卒業まで無料にすることを求め、協会尼崎支部が加盟する尼崎社会保障推進協議会は、12月6日に6,204筆の署名を尼崎市議会へ提出し、実現を求めて訴えた。



協会会員から寄せられた705筆の署名を提出



署名を提出する社保協メンバー(右)

尼崎社会保障推進協議会は、所得制限なしにすべての医療費を中学卒業まで無料にすることを求めて、毎月街頭宣伝をして署名活動に取り組んできた。協会尼崎支部では60医療機関から705筆の署名を集め、加盟団体全体で6,204筆が集まった。

昨年度は1万4千人を超える市民からの署名を提出し、市議会の拡充を求める意見書とあいまって、子育て支援として大幅に医療費助成が拡充され、子育て中の保護者から大変喜ばれた。しかし、拡充された医療費助成として中学3年生まで通院無料が実現した対象は、住民税非課税世帯803人のみに限定され、全体の3%にも満たないものだった。小学1年生から中学3年生までは所得に応じて1医療機関400円、または800円、月2回までの自己負担が残っている。

そのため、子育て世代からは、すべての子どもへの無料化を求める声が続いている。あと1億9千万円の予算があれば実現ができる。全国的には、所得制限なしにすべての子どもがお金の心配なく安心して医療を受けられるよう、自治体の努力が広がっていることを市議会へ伝えて採択を強く訴えた。

### 尼崎支部ニュースへの投稿を募集しています

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802  
e-mail miki-o@doc-net.or.jp 担当: 沖野まで



© Can Stock Photo